

シグマ研究委員会遮蔽定数 SWG 会合議事録

1. 日 時 : 昭和 57 年 11 月 8 日 13:00~17:00
2. 場 所 : 原研本部第 5 会議室
3. 出席者 : 佐々木 (MAPI), 南 (富士通), 山野, 菊池 (原研), 萬代 (IHI), 川合 (NAIG)
4. 配布資料
 - 前回議事録 (9/28, 29)
 - FS-82-26 遮蔽定数サブワーキンググループ活動 (川合)
 - FS-82-27 FDEN Code Manual (南)
 - FS-82-28 FAIR-CROSS Step 3 (南)
5. 議 事
 - 5.1 前回議事録の確認
 - 5.2 一般報告

第 6 回遮蔽国際会議の発表申込をした「JENDL-2 鉄データのベンチマークテスト」が採用された旨, 川合委員から報告された。
 - 5.3 SWG 活動の確認

FS-82-26に基づいて, これまでの活動について確認を行なった。
 - 5.4 RADHEAT-V4 システム FDEM モジュールの説明

FS-82-27に基づいて, 定数および応答関数縮約モジュール FDEM の機能, 計算式および入力データ形式について南委員から説明があった。
 - 5.5 同 FAIR-CROSS Step 3 モジュールの説明

RADHEAT-V4 システムで用いる群定数 (微分散乱マトリクスを Legendre 展開形式によらず, 直接に表示する型) から ANISN 等の P_L 展開型に変換するモジュールであるが, FS-82-28に基づいてコードの使用方法について南委員から説明された。
 - 5.6 今後の作業内容と分担の決定
 - a) ORNL ベンチマーク実験の解析
 - DOT 3.5 による計算: 当面は, 1 ケース分の計算を実行し, 入力データを完全化した後, 一気に実施する。

計算担当……山野, 入力データのチェック・修正……萬代
 - ESPRIT による計算: 定数縮約ならびに輸送計算を 11 月中に 1 ケース完成させ残りを 12 月中に実施する

定数準備……南, 計算……南, 山野

- SPACETRANによる計算：DOT 3.5 及び ESPRITの計算ができたものから
逐次実行 逐次実行

入力データの準備……川合, 計算結果の整理……佐々木, 川合, 萬代

- b) KFK ベンチマーク実験に関して, 鉄データの感度解析

- 定数の準備 (JENDL-2 鉄データの非弾性散乱データの置き換え)……菊池

- DIAC コードによる計算……山野

- c) Winfrith ベンチマーク実験の解析

- DOT 3.5 および ESPRIT コードによる計算を12月末までに完成目標

5.7 その他

1月早々に全体会合を持ち, 論文の骨子を討議する。